

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市立町たんぽぽホーム
2 指定管理者	社会福祉法人仙台はげみの会
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 2,022人(前年度比107.9%) 令和5年度 1,874人(前年度比70.0%) 令和4年度 2,676人(前年度比107.4%) 《事業》 児童発達支援事業
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 60,610千円 (58,490千円) ・ その他市が負担した費用 264千円 (909千円) 《収入》 ・ 使用料収入 26,130千円 (27,667千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 1年に1回保護者にアンケート調査を実施している。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営に当たっている。法人独自で研修を開催し支援の充実に努めている。 利用者個々の年齢や発達状況、障害特性に合わせた療育支援を工夫して行っている。 近隣の子育て支援機関と連携し、地域支援の充実に積極的に取り組んでいる。	42/42
II 施設の運営管理体制	事業計画に基づいた運営がなされている。 情報管理の徹底に努めており、事故防止や災害発生時の対応や体制を確立している。 災害発生時の対応について、近隣保育所等とネットワークを構築しているほか、避難訓練は毎月実施している。	25/25
III 施設・設備の維持管理	施設の定期的な保守点検・清掃を丁寧に行っており、利用者が快適かつ安全に利用できる環境整備に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	研修の開催や職員間でグループワークの手法を取り入れた取り組みにより、人材育成を図るとともにサービス向上に努めている。また、アンケートの実施等で利用者のニーズ把握に努め、利用者の意見を取り入れた施設運営を心掛けている。	27/27
V 施設固有の基準	集団での療育の他、1人1人の発達課題に添った個別活動の実施や、保護者との面談・療育場面の共有を通し、利用者個々の発達に寄り添った個別支援計画の作成に努めている。 指定児童発達支援事業所として、基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台はげみの会）による自己評価》
＜発達支援＞ こどもの特性に合わせたわかりやすい「環境構成」を行いながらクラスに合わせた活動に取り組んできた。活動前に活動のねらいや保護者の見るポイント、関わり方を保護者にわかりやすく伝え、それを元に活動と一緒に参加していただき、振り返りでは参加の様子を丁寧に確認してきたことによりこどもの姿をお互いに共有することが出来た。こどものより良い発達を促していくために十分な親子通園の経験を踏まえた上で、施設内で親子でわかれた活動を行い、保護者にこどもの様子を見てもらう機会や、一人で登園し職員や友だちと過ごす機会を積極的に作ってきた。 ＜家族支援＞ たんぽぽガイド、「ペアレントトレーニング」を含めた保護者勉強会を系統立ててタイミング良く行っていくことでこどもへの理解を深める機会に繋がった。「個別支援計画書」では定期的にモニタリングを行いこどもの姿を確認し支援に繋がった。必要に応じて個別面談の時間を設け保護者のニーズ確認を行い、その際に知り得た情報を職員間で共有することで一貫した支援に努めた。保護者がこどもと安心して向かい合えるように職員体制が可能な範囲できょうだい児の預かりを行った。また、きょうだい児支援として夏と冬の長期休み時にあそびの会（Hoっどキッズ）を行った。 ＜地域支援＞ 地域相談員が地域の子育て機関を定期的に訪問したことで、ホームとのより良い関係作りが出来た。青葉区エリアで地域の子育て機関の職員向けに研修を開催してきたことで職員の知識も深まり、「環境構成」やこどもへの関わり方を工夫していただいたことで卒園児の移行もスムーズに行われた。在園児が利用している事業所を訪問し情報共有することで、こどもに対して一貫した支援を行うことが出来た。地域の子育て関係施設との交流（保護者勉強会・互いの施設を訪問し交流）を行ったことで、互いに理解を深めることが出来た。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
令和6年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従っておおむね適切・良好に行われていた。 本人支援では、児童の特性に応じて環境を整える工夫がなされた。活動の前後で保護者に活動の目的やポイントを伝え、保護者自身の養育についても支援をしていることが評価できる。また、親子での通園を基本としている施設であるが、施設内で親子を分けた活動や、児童だけの通園も取り入れ、卒園後に向けた取り組みが行われている。 また、地域の子育て支援機関と協働して保護者勉強会を開催したりお互いの施設を訪問する相互理解の取り組みを行ったりしており、地域の支援機関との関係構築に努めた。 利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課